

＝ 病院の理念 ＝
人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ **458** **10**月号 **2022年**
 [毎月5日発行] [定価1部20円]
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

地域住民に貢献する医療

東葛の医療 感染管理

様々な感染症に対応できる体制を



下正宗医師

広がっているとの情報があります。特に、子どもたちを中心に広がっていることは、インフルエンザウイルスに

東葛病院の地域貢献

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

新型コロナウイルスだけでなく、様々な感染症に対応できる地域の体制づくりが求められています。これから「心がまえ」を含め下正宗医師に聞きました。

（編集部）
ウィズコロナの社会づくり

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、第7波といわれる大きな波が高いレベルでの感染者を維持しながら少しピークが下がってきています。ウイルスの変化に対応すべく新しいワクチンが開発されていますが、社会全体がウイルスに対応するためには、ワクチンを接種し続けなければならない状況も想定されています。コロナと共に生きていく社会づくり（with corona）が重要になってきています。

また、2年間蔓延することのなかったインフルエンザが南半球で

また、2年間蔓延することのなかったインフルエンザが南半球で



東葛病院発熱外来のコンテナ

さらに、サル痘や梅毒の再興など、対応しなければならぬ感染症がつきつきと出てき

また、小児も含めた発熱患者さん対応の外

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

東葛病院では、新型コロナウイルス感染症の対応として、県の依頼を受け、通常の医療を行う病棟を縮小しコロナ専用病棟を開設し軽症・中等症の患者さんを受け入れてきました。

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に

また、2022年4月には、感染対策に